

プロカメラマンが教える!

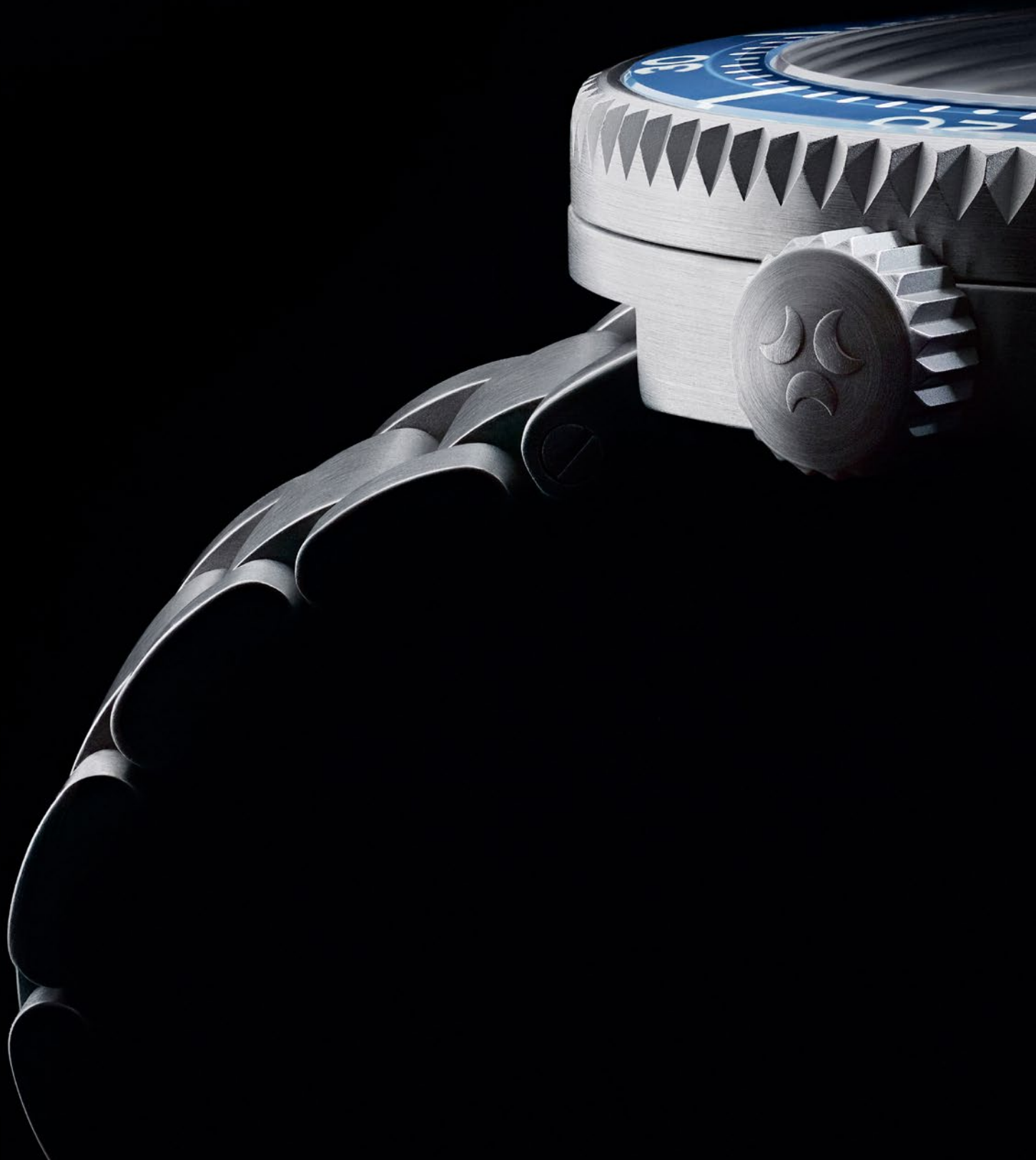
コンセプトから撮影へ

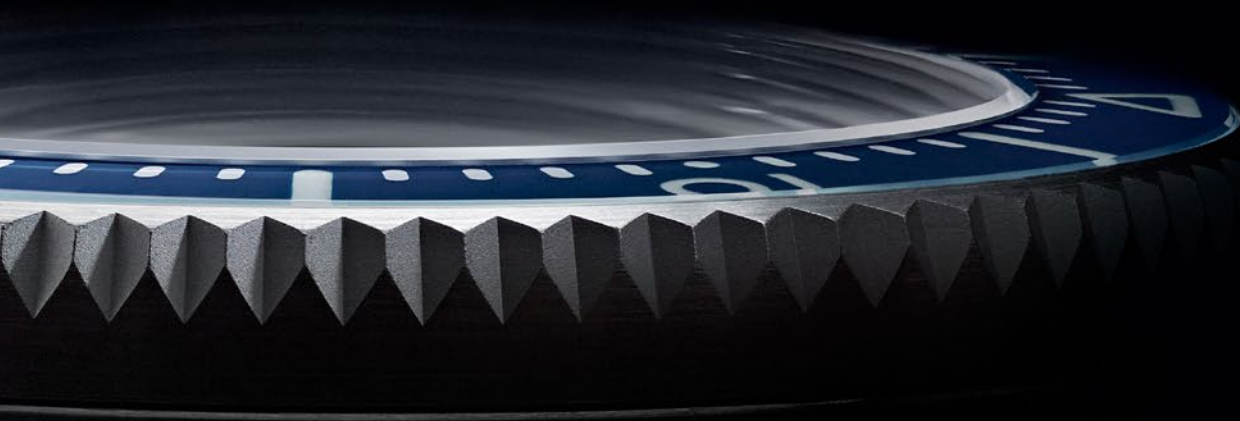
Vincent Lions



PHASEONE

what the world's best photography is made of





Vincent Lions の高解像度写真に対する見方

静物、コマーシャル写真家であるVincent Lionsが、Haliosの時計の写真撮影舞台裏を案内し、XFカメラシステムを使用した彼の創造的なプロセスを紹介します。彼のワークフロー、機材、フォーカスタッキングが驚くほど鮮明な画像の作成にどのように役立つかについてご覧ください。

撮影 ワークフロー

フォーカスタッキングの ビジュアルガイド

Haliosという時計会社の最新シリーズを広告するためのビジュアルガイドを紹介させていただきます。

Haliosと一緒に仕事をするのは2回目です。最初は、35mmシステムで撮影し、その後ミディアムフォーマットに変更し、現在はPhase One XFシステムで作業しています。ワークフローとイメージオリティの変化はとても大きいです！最終的な結果を見ると、違いを簡単に理解できると思いますが、創造的なプロセスを示すことで、このシステムが私の写真に与える影響をより良く理解することが出来ると思います。このページに表示されている画像のうち、右側の画像がどのように作成されたかを詳しく説明します。これは水に浸したHalios Lagunaの写真です。

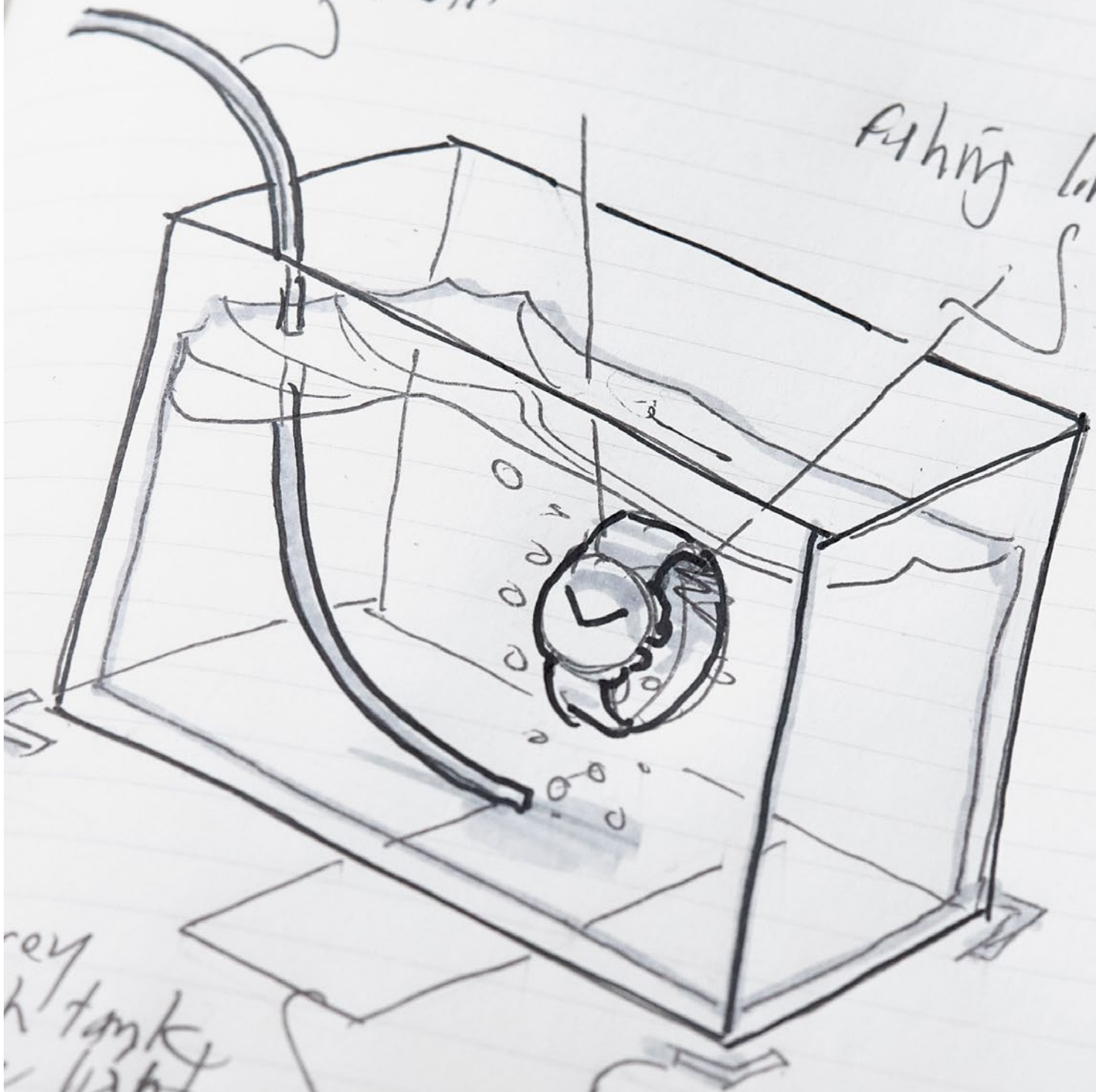




Use pump or straw
to blow air

Datum / Date:

Fishing line



key tank
light

mark
table for
fish tank
placement

コンセプト

アイデアのスケッチ

私はよくスケッチをしてから、プロジェクトを始めます。100%正確である必要はありませんが、クライアントとアイデアを共有するのに役立ちます。そうすることで、セットに進む前にさまざまなオプションを探索し、イメージを作成するために必要な資料を見つけることができます。

Haliosには、このプロジェクトで使用する6つの異なる時計があります。それは4つのSeaforthモデル、1つのLagunaモデル、そして1つのPuckモデルです。最終的な公式の製品がリリースされるまで、クライアントへビジュアルを提供するためにプロトタイプの時計で作業しました。4つのSeaforthモデルのプロトタイプは完全に防水ではありません。それらを乾燥した環境で撮影しなければなりません。私は、黒い砂の上に配置して照明を当てると、それらが水中にあるような錯覚を与えることができると考えました。その名前から、Puckモデルは氷のような環境で撮影したく、Lagunaモデルは防水なので、水に浸し、水はねと、インク（実は、インクは最後まで一度も使用されない）で遊ぶことにしました。

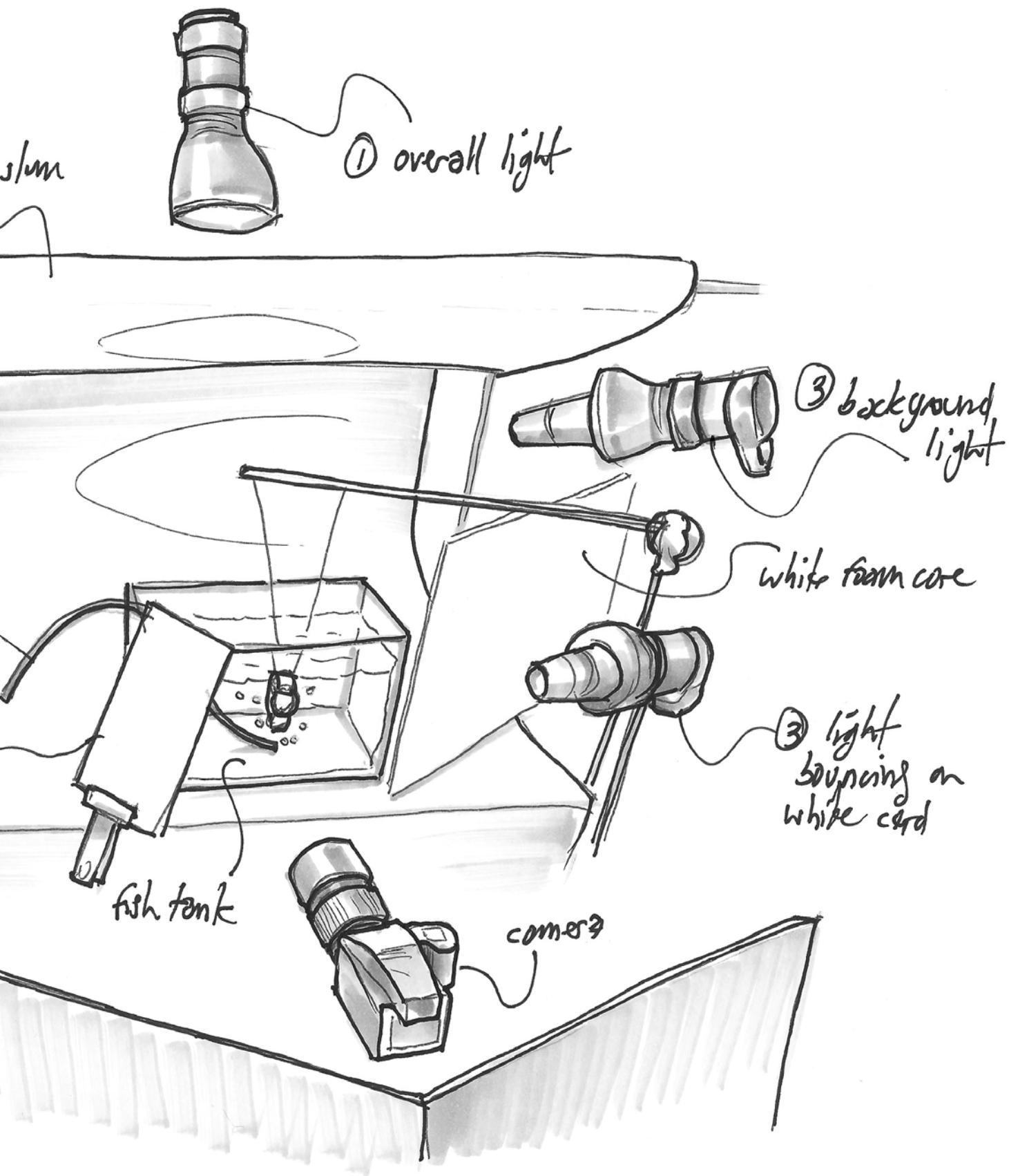
時計の写真撮影にはルールがあります。文字盤の時間は常に10時10分の位置に設定しなければなりません。文字盤とフレームのロゴのバランスをとるために、針はこのように配置されています。このルールに従うと、写真を撮る際は、時計が作動しないようにしなければなりません。時計の作動を停止するために、クラウンを引き出す必要があります。クラウンが引き出されるとするのは水が入り込む可能性があるため、時計を水にさらすことはできません。したがって、Lagunaモデルの理想的な写真を撮影するために、2枚の異なる写真を撮ることにしました。1枚目は（クラウンが引き出された状態）乾いた環境で針は10時10分の位置に設定されます。2枚目には（クラウンが押し込まれ、作動中）時計が水に浸される状態です。その後、ポストプロダクションで、それらを1つの画像に結合する必要があります。

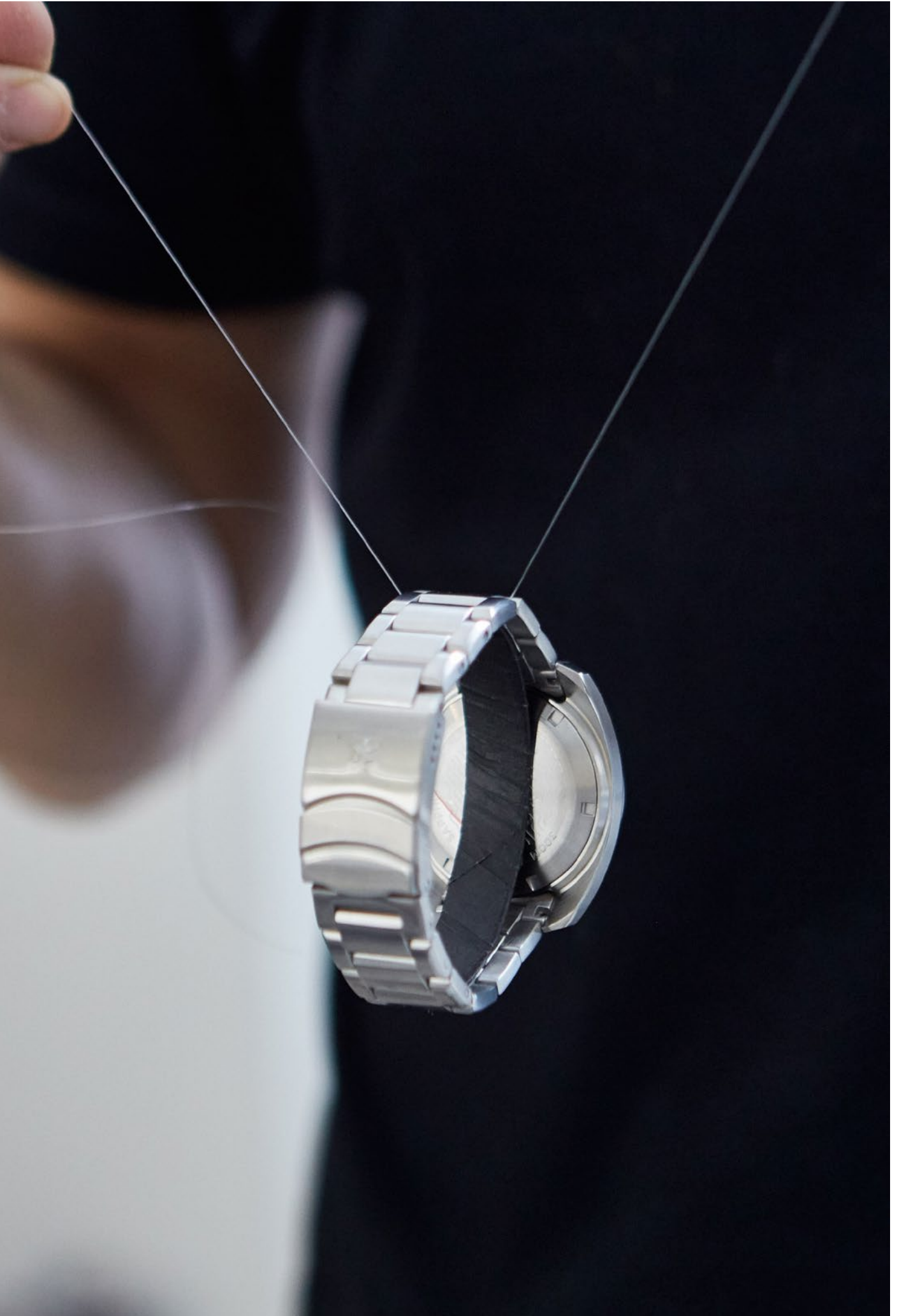
スタジオセット

撮影の準備

これがスタジオセットのスケッチです。私は3つの光源を使用しました: 1つ目は全体を照らすために使用され、2つ目は背景用、3つ目は被写体用です。先に述べたように、時計は2回撮影しました。初めは水槽なしで、2回目は水槽の中に時計を浸し、写真を撮りました。ポストプロダクションで2枚の写真をうまく結合できるように、2つの撮影で時計と光の位置を合わせなければなりません。時計の照明はチャレンジなものになります。時計の反射率がかなり高く、直射日光は見栄えが悪い場合があります。それだけでなく、水槽を通して撮影することは、追加の反射面が形成されることを意味します。そのため、光の反射のために使用される白いカード (3) を戦略的に配置する必要がありました。この白いカードは、水槽の表面の反射が無くても、時計を美しく強調できます。









完璧なフラッシュ

このプロジェクトの第2部では、Profoto D2を使用しました。このアイテムの短いフラッシュの持続時間は、流れている水をスローモーションで撮影するのに最適です。XFカメラにはProfoto Airが統合されており、つまり、ケーブルや外部リモートデバイス、またはAAバッテリーを保管したり、交換したりする必要はありません。追加のProfoto設定は、3回目の機能アップデート以降に利用可能になり、Advanced Profoto Airツールも紹介されました。

Capture One Pro によるテザリング

スタジオで働いている際に、テザリングを使用せずに、撮影することは想像できないことです。私はバージョン5（現在はバージョン20）から Capture One Proの使用を開始しましたが、それ以降このソフトをずっと使い続けています。すべてのバージョンには、ワークフローを劇的に改善する新しい機能が付属しています。Capture Oneはクリエイティブプロセスの一部として使われるだけでなく、カメラのレンズと同じくらい重要です。

Capture One ProとPhase One XFシステムの組み合わせは、以前使用していた35mmカメラと比較すると、よりスムーズに作業できるようになりました。何カ月も接続の問題はなく、接続を失うことなくテザリング中にレンズを交換でき、Capture Oneから直接カメラをコントロールできます。







Phase One XF による フォーカスタック

Phase Oneの機能アップデート (2回目) では、フォーカスタックツールが導入されました。私の撮影スタイルに対して、このアップデートは本当のゲームチェンジャーです。フォーカスタッキングは、ほとんどすべてのマクロ写真プロジェクトで非常に必要とされる画像処理技術です。初めての方であれば、使い方は次のように説明されます：同じ画像を連続して撮影し、カメラから最も遠い被写体の部分から最も近い被写体まで、各フレーム間のフォーカスポイントを徐々に調整します。次に、これらのショットをすべてポストプロダクションで組み合わせて単一の画像に結合し、最後に被写体の完璧な画像を作成します。

焦点を変更する従来の方法には、レンズのフォーカスリングを操作するか、フォーカスラックを使用してカメラ全体を被写体に近づけます (あるいは、被写体からさらに遠ざける)。Phase One XFフォーカスタックツールを使用すると、カメラをプログラムするだけで済みます：プログラムした通り、すべての写真は自動的に、完璧に、そして高速に撮影されます。

(注：私はまだフォーカスレールを使用していますが、三脚ヘッドの設定を変更せずに、カメラを被写体までの適切な距離に非常に正確に配置するためにのみ使用します。時計や宝石などの小さな被写体の場合では、この方法の効果がよく見えます)。

このプロジェクトでは、Schneider Kreuznach 120mm LS f4.0マクロブルーリングレンズを使用しています。このレンズは撮影のための最も明確で最高のマクロレンズです。このレンズの主要機能の1つは (もちろんリーフシャッターと光学的品質も含める) オートフォーカスです。カメラがレンズを駆動できるように、Phase One XFのフォーカスタックツールを使用するために、オートフォーカスは非常に重要な機能です。

左の写真は、時計のブレスレットの内側に焦点を合わせており、これは、時計からカメラに最も遠い部分です。右側の画像は、時計のカメラに最も近いガラスの右下部分に焦点が当てられています。



レンズをオートフォーカスに設定する

レンズがマニュアルモードの場合、フォーカスタックツールは動作しません。



焦点距離を見つける

ビューファインダーまたはライブビューを使用して被写体を詳しく確認し、XF本体のサイドダイヤルとフロントダイヤルをスクロールして（微調整）、焦点距離を見つけます。



焦点距離を割り当てる

トップフロントキーを使用して焦点を保存します。



近くの焦点距離を見つける

前の手順を繰り返します。今回は近くの焦点距離に対応します。



近くの焦点距離を割り当てる

トップリアキーで焦点を保存します。



撮影枚数を設定する

リアダイヤルを使用し、撮影する画像の枚数を設定します。



撮影の遅延を設定する

これは私のお気に入りの「非表示」機能です：フォーカスタックは、各撮影の間にタイマーを設定するオプションがあります。スタジオライトのチャージにさらに時間が必要な場合に非常に役立ちます。このオプションにアクセスするために、「X」の下にある複数の画像のアイコンをタップします。



ミラーが上に向いていることを確認する

Capture One Proのカメラコントロールを使用するか、XF本体のメイン画面に戻り、ミラーアップがオンになっていることを確認します（しかし、必要に応じて、ミラーが下に向いたままフォーカスタックツールを使用することもできます）。



フォーカスタックを開始する

リアユーザーボタンを使用してフォーカスタックを開始し、画像を撮影します。



XFカメラが自動で撮影を行います

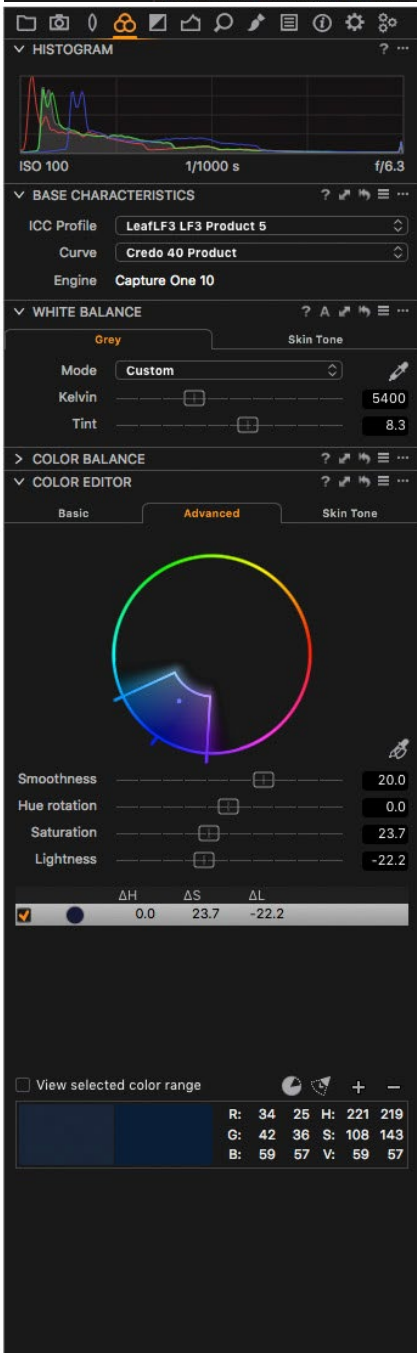
カメラは入力した設定でフォーカスタックツールを実行します。タッチスクリーンの[中止]をタップすると、いつでも撮影を中断できます。



キャプチャーの遅延は、各撮影の間にカメラを一時停止します（この場合は1秒）……



すべてのフレームを次々に（この場合は40枚）撮影します。フォーカスタックツールのもう1つの大きな利点は、ハンズフリー 機能を備えていることです。被写体にカメラマンの手が映り込むことや、不要な振動が起こることは決してありません。



画像のエクスポート

左は結合された40枚のショットです。Capture Oneでは画像に劇的な変更は加えませんでした。主に青い背景をより鮮やかにし、ホワイトバランスを調整しました。

次のステップは、Capture Oneからこれらの画像をすべてエクスポートし、Helicon Focusのようなフォーカスタッキングアプリケーションにインポートすることです。しかし、編集プロセスに進む前に、スタジオセットをまだ片付けずに、水槽に浸した時計の最終的な画像を撮影しなければなりません。



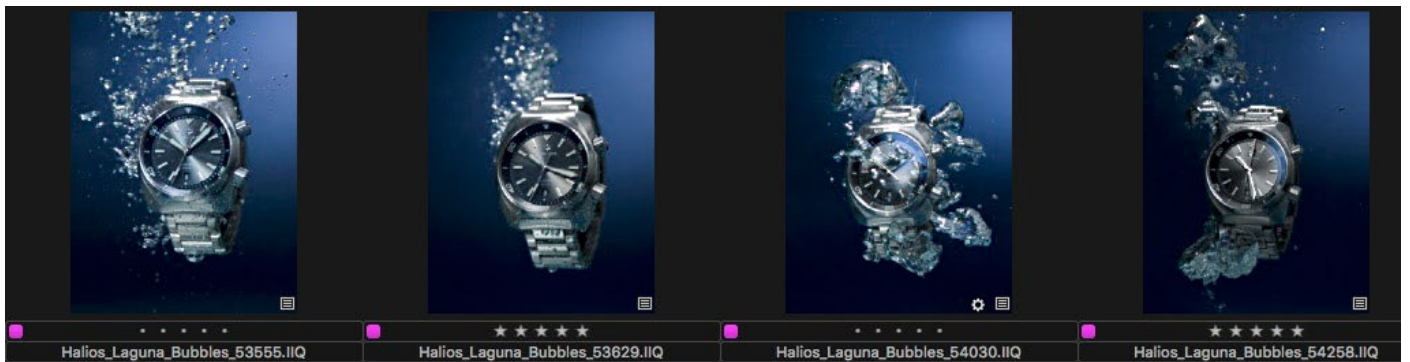
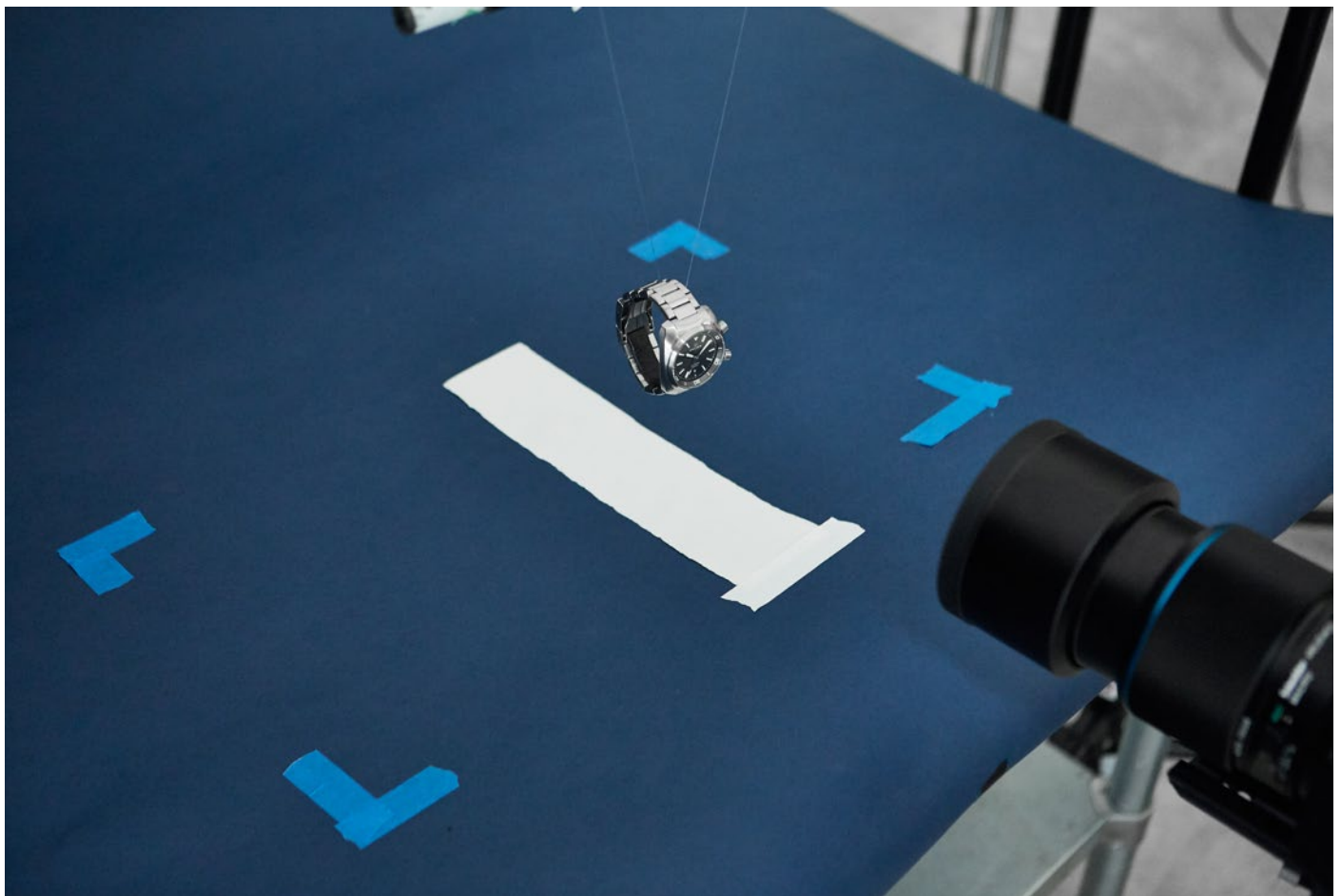
ウォーター ショット

時計の写真を撮る際に、水槽が使用される場合と使用されない場合があり、また水槽を2回以上移動する可能性があるため（おそらく、水をきれいにするか、水を補充するなどの理由で）、テープでその位置をマークしました。









撮影を完成させる

時計を置くスタンドにもテープをつけました。この方法で、水槽を出し入れするときに時計を上下に持ち上げ、時計を以前とまったく同じ位置に戻すことができました。

期待していた結果が得られる前に、水中で時計を複数回撮影しました。そして、液体、煙、または基本的に有機的または動きのあるものなどの要素を追加する場合、常に完全に制御できるとは限らないいくつかの要因を扱っていることを受け入れる必要があります。その最終的な画像を得るために、私は以前に投稿したスケッチのように、時計の下に空気を吹き込みました。

水中作業をする前に最も重要なことは、時計のクラウンをねじ込むことを忘れないことです。

ポスト プロダクション

最後のステップ

すべての画像が撮影されたら、ポストプロダクションで実行する最後の3つのステップがあります：

1 画像をエクスポートする前に、Capture One Proで微調整を行います。これは、色や細部を調整することを意味します。この手順では、より大きな高解像度のモニターを使用しました（27インチのEIZOモニターで作業）

2 Helicon Focusで、フォーカスタッキングセッションからの40枚の画像すべてを単一の画像に結合します。このステップでは、Helicon Focusでいくつかの修正が必要になります。

3 Adobe Photoshopで併合された画像の結果と水の画像を組み合わせることで、文字盤に完璧な時計の10時10分の形と、時計のすべての動きと水中ショットの有機的な要素、両方を示す最終的な画像が完成しました。









間近で見る

このプロジェクトのすべての写真が編集やスタジオの準備に大量の作業を必要とするわけではありません。例えば、左側の写真には、水、水槽、Photoshopで併合された画像は含まれていません。基本的な要素のみが必要とされます：コンセプト、照明、構図、フォーカスタッキング。しかし、シンプルに見える画像であっても、ミディアムフォーマットシステムで作業する場合、画像の品質が非常に優れているため、微細なほこり、金属の欠陥、小さな傷などの修正に何時間も費やしてしまう可能性があります。一度も着用されたことのないプロトタイプの時計であっても、すべてが最初は完全にきれいに見えたとしても、画像を修正する手間がかかるかもしれません...これらの細かい箇所はズームインする前にも気づくことができるかもしれません！

XFカメラ システムの操作

創造的なプロセスをお楽しみください

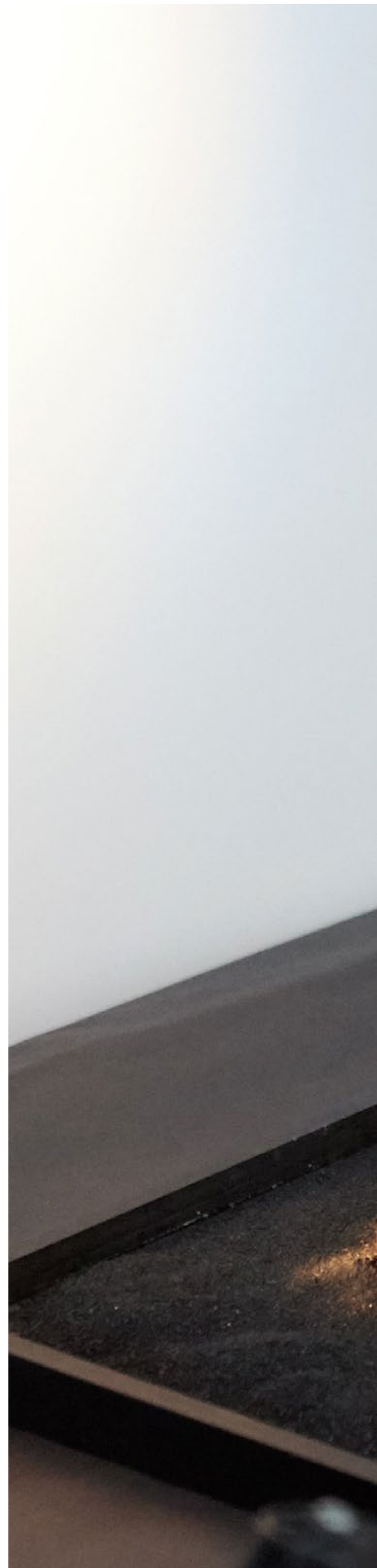
Phase One XFカメラシステムとCapture One Proを併用すると、ワークフローや創造的なプロセスに大きな影響を与えるだけでなく、仕事をするときに笑顔になることを認めざるを得ません！ 工作中、私の役割を正常に果たせば、カメラシステムが、驚くべき画質を提供してくれます。

私は自分の仕事を本当に楽しんでます。この電子ブックで皆さんと共有できて幸運だと思います。私にとって、この情熱を伝えることは非常に重要です。シンプルな理由として、画像を作成する目的は、画像を表示することです。私自身が創造的プランニングプロセスで情熱と充実感を感じなかったとしたら、誰もが私の作品に感情的に反応することはないと思います。つまり、確かに、強力な視覚効果を作成するには、創造性、優れた目、優れた機材、そして確かな写真スキルが必要です。しかし、全体として、それは私たちが楽しむべきプロセスなのです。

Haliosが新しいモデルのPR写真を受け取った後、彼らから次の素晴らしいフィードバックを受け取りました：

“*Vincent Lions*のようなアーティストが私の時計を撮影してくれて光栄です。時計愛好家として、光沢のある完璧に撮影された時計の写真に事欠かないが、写真のコンセプト、撮影のプロセスが分かるようになっていることは、私にとって崇高な体験となります。それは私の情熱の2つの収束のようなものです。”

- Jason Lim, Halios Watches





Vincent Lions

Vincentはフランス出身のプロ写真家であり、カナダのトロントに本社を置いています。2004年以来、彼はコンセプチュアル、静物、商業の写真を専門としています。アートディレクションのバックグラウンドを持つ彼は、技術と照明と同じように、撮影の創造的で物語的な面も大切にしています。

彼の作品の詳細はこちら

<http://www.vincentlions.com>

Instagramはこちら:

<https://www.instagram.com/vincentlions/>





コンセプトから撮影へ

Vincent Lions



使用した機器

- Phase One XF カメラシステム
- Leaf Credo 40MP デジタルバック
- Schneider Kreuznach 120mm LS f4.0 マクロブルーリングレンズ
- Profoto D2 モノライト
- Capture One Pro ソフトウェア

詳細については、www.phaseone.com をご覧ください

ソーシャルメディアを通して私達をサポートしてください:

Facebook @PhaseOnePhoto
Instagram @PhaseOnePhoto
Twitter @PhaseOnePhoto
YouTube @PhaseOneDK

PHASEONE
what the world's best photography is made of